JAIST
JAPAN
ADVANCED INSTITUTE OF
SCIENCE AND TECHNOLOGY
1990

北陸先端科学技術大学院大学
先端科学技術研究科（融合科学共同専攻）

博 士 前 期 課 程

学 生 募 集 要 項

令和7年4月入学

北陸先端科学技術大学院大学
（融合科学共同専攻）

目　　次

Ⅰ．巻頭
博士前期課程入学者選抜試験日程 ･･･ １
融合科学共同専攻について･･･ ２
アドミッション・ポリシー･･･ ２
目指す人材像･･･ ２
重要なお知らせ･･･ ３
ディプロマ・ポリシー･･･ ３
教育理念・目的･･･ ３
３つの挑戦的なイノベーションの枠組み ･･････････････････････････････････ ４
４つの「力」･･･ ４
主任研究指導教員･･･ ５

Ⅱ．入学者選抜
１．一般選抜･･･ ７
２．特別選抜
２－１．随時特別選抜 ･･ １６
２－２．推薦入学特別選抜
２－２－１．海外在住者対象推薦入学特別選抜 ･･････････････････････ ２４
２－２－２．協定校対象推薦入学特別選抜 ･･････････････････････････ ３２

Ⅲ．重要事項
１．出願及び受験等に関する注意事項 ･･････････････････････････････････ ３８
２．受験上及び修学上において特別な配慮等が必要な場合の事前相談 ･････ ３８
３．配属研究室入学前内定制度 ･･･ ３８
４．長期履修制度･･･ ３９
５．安全保障輸出管理･･･ ３９
６．個人情報の取扱い･･･ ３９
７．石川キャンパス･･･ ４０

Ⅳ．所定の様式

各選抜に関する全ての事項は、出願者が学生募集要項を熟読することによって、必ず本人の責任で確認してください。なお、訂正等があれば本学ホームページ等にてお知らせします。

［問合せ先］〒923-1292　石川県能美市旭台１－１
北陸先端科学技術大学院大学　教育支援課入試係
Email:nyushi@ml.jaist.ac.jp　　TEL:0761-51-1177
問合せ・窓口受付時間：9 時～17 時まで（土日・祝日等を除く）

博士前期課程入学者選抜試験日程

◆令和7年4月入学

<table>
<tr><th colspan="3">試験区分</th><th colspan="2">出願期間
（又は最終出願締切）</th><th>試験期日
（本学が指定した1日）</th><th>合格者
発表日</th></tr>
<tr><td colspan="3" rowspan="2">1．一般選抜</td><td>第1回</td><td>5月29日（水）～6月11日（火）</td><td>7月6日（土）・7日（日）</td><td>7月19日（金）</td></tr>
<tr><td>第2回</td><td>9月2日（月）～13日（金）</td><td>10月12日（土）・13日（日）</td><td>10月25日（金）</td></tr>
<tr><td rowspan="3">2．
特
別
選
抜</td><td colspan="2">2－1．
随時特別選抜</td><td colspan="2">試験希望日の3週間前
※最終出願締切：令和7年1月31日（金）</td><td>7月29日（月）～令和7年2月20日
（木）
（土・日及び祝日等を除く）</td><td>別に定める</td></tr>
<tr><td rowspan="2">2－2．
推薦入学
特別選抜</td><td>2－2－1．
海外在住者対象
推薦入学特別選抜</td><td colspan="2">事前提出締切：11月14日（木）
出願期間：11月6日（水）～28日（木）</td><td>面談及び書類選考</td><td>令和7年1月24日（金）</td></tr>
<tr><td>2－2－2．
協定校対象
推薦入学特別選抜</td><td colspan="2">※最終出願締切:9月30日（月）</td><td>書類選考</td><td>別に定める</td></tr>
</table>

＊飛び入学や海外の大学を卒業した場合等、出願前に入学資格審査が必要となる場合があるので、注意してください。
＊上記及びその他詳細について、「Ⅱ．入学者選抜」で必ず確認してください。

融合科学共同専攻について

北陸先端科学技術大学院大学と金沢大学は、将来が見通しにくい現代社会において、卓越した発想と行動力を基に、社会を力強く導いていけるような「科学技術イノベーション人材」を養成するため、融合科学共同専攻を設置しました。

イノベーションの源泉である「新たな知」の創造は、既存の科学分野を超えた、複数の科学分野の“融合”から生まれるとの考えから、異なる専門分野における学びにも積極的に挑戦する“異分野融合型大学院教育”を２大学共同で実施します。

〇特徴

・本学と金沢大学との共同教育課程により、両大学で科目を履修します。
・「３つの挑戦的なイノベーションの枠組み（３つのチャレンジ)」(4頁参照）の下で教育課程を履修します。
・本学と金沢大学の教員から教育研究についての指導を受けます。指導体制については、本学に所属する教員を主任研究指導教員（5頁参照）として配置し、金沢大学に所属する教員を副主任研究指導教員として配置します。両大学の教員が連携して指導を行う体制により、学生個人ごとにきめ細やかな指導を行います。
・金沢大学の図書館等の施設・設備を利用することができます。
（一部の施設設備については利用制限が設けられている場合があります。）

〇融合科学共同専攻対象奨学金（給付型）

入学者選抜試験の成績優秀者に対し、次のとおり奨学金を支給します。

給付額：月額5万円　　給付期間：2年間

※融合科学共同専攻対象奨学金（給付型）の支給の可否については、合否結果通知の際にお知らせします。

アドミッション・ポリシー

博士前期課程では、学士課程等で修得してきた分野の基盤的専門知識のほか、専門が異なる分野にも関心を持って他者との協奏的活動に取り組み、複雑で困難な問題を分野融合の力で解決し、社会の発展のための新しい価値を積極的に創造しようとする強い意欲を持つ者を受け入れる。

目指す人材像

グローバル社会のニーズや動向に応じて、独創的な発想と卓越した研究力を基に、科学技術イノベーションの基礎を生み出し、社会実装できる人材

重要なお知らせ

〇本籍を置く大学について

・本募集要項により本学に出願し、入学手続を行った場合、本学及び金沢大学に在籍することとなりますが、本籍を置く大学は本学（北陸先端科学技術大学院大学）となり、主任研究指導教員は本学の教員となります。
また、授業料等の納付、奨学金の申請その他の各種手続については、本籍を置く大学となる本学で行うことになります。

〇金沢大学が開講する科目について

・金沢大学が開講する科目については、金沢大学のキャンパスに通学して履修することを原則としますが、メディアを利用した遠隔講義配信システムの活用や、集中講義形式による開講など、通学の負担を軽減する仕組みを導入しています。

〇本学と金沢大学の融合科学共同専攻選抜試験を併願する場合の注意について

・融合科学共同専攻は２つの構成大学（本学及び金沢大学）が1つの教育課程を共同で運営するため、構成大学の１つに入学手続を完了した者は、他の構成大学の入学者選抜試験に合格しても入学手続を行うことはできません。

ディプロマ・ポリシー

博士前期課程では、教育理念に掲げる４つのフォース（4頁参照）を基礎とした“科学を融合する方法論”を探求・実践した上で、次の「学修成果」に掲げる５つの能力・資質（コンピテンス）を修得するとともに、所定の期間在学し、かつ所定の単位を修得した上で、修士論文の審査及び最終試験、若しくは特定の課題についての研究の成果の審査及び最終試験に合格した学生、又は博士論文研究基礎力審査に合格した学生に「修士（融合科学）」の学位を授与する。

1）科学技術イノベーションに連関する社会課題の解決に貢献できる能力
2）自分の専門分野に関する知識と実践力
3）他分野に対して積極的に関与する意欲と能力
4）外国語の学術論文を読みこなし、自分の研究を外国語で簡単に説明できる能力
5）科学・技術・生命に対する研究者倫理観

教育理念・目的

科学技術イノベーション人材の養成に当たり、両大学は、イノベーションの源泉は「新たな『知』の創造」にあると定義した上で、それを実現するための一貫した教育理念として、「融合科学の促進」を掲げています。

「融合科学の促進」を「科学技術イノベーションに連関する複雑な社会課題の解決に向けて、既存の科学分野を超える枠組みの下で、“科学を融合する方法論”を探究・実践しながら、複数の科学分野の融合を促進させること」と定義し、これに基づいた教育体系を構築しています。

○３つの挑戦的なイノベーションの枠組み（３つのチャレンジ）

教育理念を実現するためのフレームワークとして、本共同専攻には、特にコース等を設けず一の専攻のみによって構成することとし、一方で、複雑な社会課題の解決に向けた既存の科学分野を超える枠組みとして、両大学の強み・特色となる分野を結集し、次に掲げる３つの挑戦的なイノベーションの枠組み（３つのチャレンジ）を設定しています。

Ⅰ：ライフイノベーション（健康的で質の高いライフスタイルの創出）

［キーワード］

個々の健康的なライフスタイルに資する生物学的・生体的機能の計測・解明・制御と、その応用

Ⅱ：グリーンイノベーション（環境に適合した次世代型〈材料・デバイス・エネルギー〉の創生）

［キーワード］

自然エネルギー・再生可能エネルギーの創出、貯蔵、輸送／新素材やナノテクノロジーを利用した省エネルギーデバイス開発

Ⅲ：システムイノベーション（科学技術と人や社会とが調和した未来社会の創造）

［キーワード］

ビッグデータや人工知能（AI）を活用した知的システムの開発／生物をヒントにしたシステム・機械の開発／自然環境や文化的環境等を踏まえた社会環境改善

○４つの「力」（フォース）

本共同専攻では、“科学を融合する方法論”の探求・実践に当たって、自らの研究分野を超えた「異分野」に飛び込み、異なる知識背景を持つ他者とコミュニケートできる「力」を身に付ける必要があると確信します。その「力」を一様に定義することは困難ですが、その通底する基礎として、次に掲げる４つの「力」（フォース）を設定しています。

Force １：データ解析する「力」

融合しようとする各科学分野の視点で、現象を表すデータを多角的に解析する「力」

Force ２：モデル化する「力」

融合分野の基礎に矛盾しないモデルを提唱する「力」

Force ３：可視化する「力」

他分野の人にも分かりやすい“図”を呈示する「力」

Force ４：デザインする「力」

他分野及び社会とのインタラクションを通して自己の提案を改変しながら、問題を解決していく「力」

主任研究指導教員

・青木　利晃　教授
［研究分野］　ソフトウェア工学、ソフトウェア科学、形式手法、形式検証、テスト
［キーワード］モデル検査、定理証明、形式仕様記述、組込みシステム、車載システム、
産業応用

・池田　心　教授
［研究分野］　ゲーム情報学
［キーワード］ゲーム木探索、教師あり学習、強化学習、遺伝的アルゴリズム、パズル、
コンテンツ生成、人間らしいゲームＡＩ

・小矢野　幹夫　教授
［研究分野］　固体物性、熱電変換
［キーワード］物理・実験系、低次元伝導体、熱電変換の物理、熱電材料、
エネルギーの有効利用、エネルギーハーベスティング

・林　幸雄　教授
［研究分野］　複雑ネットワーク科学
［キーワード］ネットワーク科学、無線通信、フラクタル統計物理、生物メカニズム、
アルゴリズム、最適化、ＳＮＳ、インフルエンサー

・松見　紀佳　教授
［研究分野］　エネルギー材料の創出研究
［キーワード］リチウムイオン２次電池、ナトリウムイオン２次電池、リチウム空気電池、
スーパーキャパシター

・由井薗　隆也　教授
［研究分野］　コラボレーション技術、ＣＳＣＷ、創造性、知識科学
［キーワード］創造性支援、コミュニティ支援、異文化協力、インタラクション設計、
共同コンテンツ作成、ソーシャルメディア

・白井　清昭　准教授
［研究分野］　自然言語処理、機械学習、知識獲得、人工知能
［キーワード］統計的自然言語解析、ウェブアクセス支援、自然言語処理応用システム

・筒井　秀和　准教授
［研究分野］　分子生物学、生理学、生物物理学
［キーワード］ニューロン、細胞膜電位、蛍光タンパク質、バイオセンサー

・西村　俊　准教授
［研究分野］　触媒化学、固体触媒、合金触媒、バイオマス変換
［キーワード］資源・エネルギーの有効利用技術、金属ナノ粒子触媒、固体酸塩基触媒、
新触媒の創成、触媒作用機構の解明

・ホ　アン　ヴァン　准教授
［研究分野］　ロボティクス
［キーワード］ソフトロボティクス、柔軟な触覚装置

Ⅱ．入学者選抜

１．一般選抜

１．一般選抜

１．募集人員

研究科	専攻	募集人員
		令和 7 年 4 月入学
先端科学技術研究科	融合科学共同専攻	10 名 (注 1)

（注 1）特別選抜の募集人員を含みます。

２．出願資格

入学希望月の前月末日までに次のいずれかに該当する者。

(1)　日本の大学を卒業した者

(2)　大学改革支援・学位授与機構から学士の学位を授与された者（学校教育法第 104 条第 7 項の規定により学士の学位を授与された者）

(3)　外国において学校教育における 16 年の課程を修了した者

(4)　我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における 16 年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者

(5)　外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における 16 年の課程を修了した者

(6)　外国の大学その他の外国の学校（その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。）において、修業年限が 3 年以上である課程を修了すること（当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって文部科学大臣の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含む。）により、学士の学位に相当する学位を授与された者

(7)　専修学校の専門課程（修業年限が 4 年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者

(8)　文部科学大臣の指定した者（文部科学省所管外の大学校等を卒業した者等）

(9)　本学が認める飛び入学者

次に掲げる事項を満たし、本学の定める単位（当該大学の卒業又は外国における大学の教育課程に相当する教育課程の修了に必要な単位数のうちおおむね 4 分の 3 以上）を優秀な成績で修得したと認めたもの

①　日本の大学に 3 年以上在学した者

②　外国において学校教育における 15 年の課程を修了した者

③　外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における 15 年の課程を修了した者

④　我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における 15 年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が指定するものの当該課程を修了した者

(10)　学校教育法第102条第2項の規定により大学院に入学した者であって、当該者をその後に入学させる本学において、大学院における教育を受けるにふさわしい学力があると認めたもの（本学における出願資格(9)に相当する資格により他の大学院へ入学し、その後本学への入学を希望する者等）

(11)　本学において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、22歳に達したもの

※上記出願資格(1)～(8)のいずれかに該当する場合は、入学資格審査を受ける必要はありませんので、「３．出願期間」に進んでください。

［入学資格審査］

出願資格(9)、(10)、(11) により出願を希望する場合は、出願前に入学資格審査を行うので、入学資格審査要項及び出願調書等を本学ホームページ（入学案内→学生募集要項）からダウンロードし、直接入力・印刷の上、次の期日までに審査書類を提出してください。

試験区分			提出締切日（必着）
一般選抜	令和7年4月入学	第1回	令和6年 4 月23日(火)
		第2回	令和6年 8 月 2 日(金)

入学資格審査の詳細については入学資格審査要項を参照してください。

［入学資格審査URL］
https://www.jaist.ac.jp/admissions/application-guide/Eligibility.html

なお、出願資格(9)①で本学に入学した場合、学部学生としての履歴は退学となり、学部卒業（学士）が条件となっている各種国家試験等においては受験等の資格がないので十分注意してください。

審査結果通知書は、出願締切の１週間前までに本人宛に発送します。審査結果通知書が届かない場合は、教育支援課入試係(Email:nyushi@ml.jaist.ac.jp)まで問い合わせてください。入学資格を認められた場合に限り、出願することができます。

３．出願期間

出願期間は次のとおりです。出願期間内に「４．インターネット出願登録」、「５．証明書類の郵送」を行ってください。

試験区分			出願期間（期間内の消印有効）
一般選抜	令和7年4月入学	第1回	令和6年 5 月29日(水)～ 6 月11日(火)
		第2回	令和6年 9 月 2 日(月)～13 日(金)

※国費外国人留学生は、インターネット出願システムでの検定料納付手続不要のため、出願締切の前日までに電子メールで教育支援課入試係(Email:nyushi@ml.jaist.ac.jp)に連絡してください。なお、他大学に在学している国費外国人留学生は、証明書（奨学金支給期間が明記されたもの）も併せて添付してください。

※第1回、第2回とも出願することは可能ですが、出願手続はその都度行う必要があります。

４．インターネット出願登録

本選抜はインターネットで出願登録を行います。インターネット出願登録後、「５．証明書類の郵送」を行うことで、出願手続が完了します。

インターネット出願登録は本学ホームページ（入学案内→インターネット出願）のインターネット出願登録サイトから行います。

出願登録方法の詳細については、インターネット出願登録サイトを参照してください。

［インターネット出願登録サイト URL］

https://www.jaist.ac.jp/admissions/internet-application/internet-application.html

(1) 検定料

インターネット出願登録の際、検定料を納付する必要があります。支払い方法等については、インターネット出願登録サイトでご確認ください。

区分	金額	摘要
検定料	30,000 円	・検定料とは別に払込手数料が必要です。 ・納付された検定料は原則返還しません。 ・国費外国人留学生は納付不要です。

(2) アップロードする書類

インターネット出願登録の際、所定の様式等をアップロードする必要があります。

所定の様式は、本学ホームページ（入学案内→所定の様式）からダウンロードし、直接入力してください。なお、PDF 形式でのアップロードを推奨します。

［所定の様式ダウンロード URL］

https://www.jaist.ac.jp/admissions/application-form/form-yugom.html

① 出願者全員がアップロードする書類

所定の様式等	備　　考
顔写真	出願前 3 か月以内に撮影した正面、上半身、脱帽、背景なしのカラー顔写真データ（jpeg, jpg, png, bmp のいずれかのファイル形式で最大 2MB まで）を用意し、インターネット出願登録サイトに従いアップロードすること。
小論文	**課題：「本専攻入学後に取り組みたい分野融合を含む研究課題について」** 研究の背景、目的、内容、方法等を自分の考えに基づいて記述すること。なお、研究の準備状況やこれまでの研究（たとえば卒業研究）との関連あるいは専門を変える理由等を追加してもよい。 書類は日本語 1,000 字程度又は英語 600 ワード程度で横書き。 また、11 ポイント以上のフォントを用い A4 判片面 1 枚に収めること（補足資料の添付は不可）。

エントリーシート	以下について記入すること。 ① ３つの挑戦的なイノベーションの枠組み（３つのチャレンジ）（4 頁参照）のうち、希望する１つを記入すること。 ② 関心の高い研究室（主任研究指導教員（5 頁参照）の中から、関心の高い教員名をフルネームで記入。複数可。） ③ これまでに履修した授業のうち、得意な専門科目（3 科目） ④ 本学を志望する理由 ⑤ 本学博士前期課程修了後のキャリア目標 書類は 11 ポイント以上のフォントを用い A4 判片面 1 枚に収めること（補足資料の添付は不可）。
特定類型該当性の自己申告書	

② 該当者のみアップロードする書類

＜出願資格(3) (4) (5) (6)該当者＞

所定の様式	備　　考
学校教育等履歴書	大学に限らず、外国において学校教育を受けた出願者は提出が必要。

＜外国籍の出願者＞

証明書類	備　　考
パスポートの写し	外国籍の出願者は、出願期間内に有効なパスポート（氏名が記載されたページ）の写しを提出すること。また、出願時に日本に在留している者は、在留カード（両面）の写しも併せて提出すること。 なお、出願時に海外に在住している者で、出願期間内に有効なパスポートを所持していない者のみ、パスポートに代えて、本国の戸籍謄本、市民権等の証明書の写しを認める。この場合は、次の点に注意すること。 ・日本語又は英語以外で作成されたものの場合は日本語又は英語の訳文を併せて提出すること。 ・提出する写しには「有効なパスポートを所持していない」旨を自書すること。
在留カードの写し	

５．証明書類の郵送

インターネット出願登録後、次の証明書類を郵送してください。証明書類は一括して、角２封筒（出願者の氏名・住所を明記し、博士前期課程（融合科学共同専攻）一般選抜・証明書類在中」と朱書きすること）に入れ、速達書留郵便（海外からの場合は DHL、EMS 等）で提出してください。なお、教育支援課入試係窓口に持参し、提出することも可能です。

(1)　出願者全員が提出する書類

証明書類 (注1)	備　　考
成績証明書 ※写し（コピー）不可	出願資格を満たす出身の大学長、学部長等が日本語又は英語で作成したものを提出すること。日本語又は英語での作成ができない場合は、自国の大使館、総領事館等の公的機関で作成又は証明した日本語又は英語の訳文（日本語学校又は翻訳会社の公印付きの翻訳文書も認める）を併せて提出すること。 編入学等により認定されている科目がある場合又は短期大学・高等専門学校の専攻科に進学した場合は、前学校（大学、短期大学、高等専門学校本科）の成績証明書も併せて提出すること。 出願資格(9)～(11)のいずれかに該当する者は提出不要。
卒業（見込）証明書 ※写し（コピー）不可	出願資格を満たす出身の大学長、学部長等が日本語又は英語で作成した卒業（見込）日入りのものを提出すること。日本語又は英語での作成ができない場合は、自国の大使館、総領事館等の公的機関で作成又は証明した日本語又は英語の訳文（日本語学校又は翻訳会社の公印付きの翻訳文書も認める）を併せて提出すること。 出願資格(9)～(11)のいずれかに該当する者は提出不要。

(2)　該当者のみ提出する書類

＜出願資格(2)（3）(6)該当者＞

証明書類 (注1)	備　　考
学士の学位授与（申請受理・申請予定）証明書 ※写し（コピー）不可	大学改革支援・学位授与機構、在籍する学校長等が日本語又は英語で作成したもの。日本語又は英語での作成ができない場合は、自国の大使館、総領事館等の公的機関で作成又は証明した日本語又は英語の訳文（日本語学校又は翻訳会社の公印付きの翻訳文書も認める）を併せて提出すること。 卒業証明書等で学位取得が確認できる場合は提出不要。

＜他大学に在学している国費外国人留学生（文部科学省）＞

証明書類 (注1)	備　　考
国費留学生証明書 ※写し（コピー）不可	当該大学が作成したもので、奨学金支給期間が明記されているもの。

＜外国政府派遣留学生＞

証明書類	備　　考
外国政府派遣留学生証明書 ※写し（コピー）可	外国政府派遣留学生であることを証明又は確認できるもの。

＜婚姻等により証明書と氏名が異なる者＞

証明書類	備　　考
戸籍抄本等	旧氏名、新氏名が確認できるもの。

(注1)「写し（コピー）不可」について

証明書は写し（コピー）ではなく、原本を提出してください。なお、偽造防止処理のない用紙に電子押印された証明書の場合、出身大学等による厳封がされていないものは受理しません。

原本の提出ができない場合は、Certified True Copy（原本から正しく複製されたものであることが出身大学又は大使館、総領事館等の公的機関によって証明されたもの）を提出してください。

［郵送・提出先］〒923-1292　石川県能美市旭台１－１
北陸先端科学技術大学院大学　教育支援課入試係
窓口受付時間：9時～17時　（土日・祝日等を除く）

６．受験票の発送

「４．インターネット出願登録」、「５．証明書類の郵送」の手続が完了し、出願を受理した時は、本学から受験票等を郵送で、受験上の注意等をメールにてそれぞれの出願締切後に送付します。受験票等が試験期日の１週間前までに届かない場合は、教育支援課入試係(Email:nyushi@ml.jaist.ac.jp)まで問い合わせてください。

７．試験期日及び選抜方法

(1)　試験期日

試験区分に対応して、次に定める期日のうち、本学が指定した１日に試験を行います。

受付時間及び試験時間は、発送する受験票で通知します。

試験区分			試験期日	実施方法
一般選抜	令和７年４月入学	第１回	令和６年 ７ 月 ６ 日(土)・ ７日(日)	オンライン
		第２回	令和６年 10 月 12 日(土)・13 日(日)	

(注)試験日は出願者数や面接委員の専門等にも関係するので、時間帯を含めて出願者の希望や変更は受け付けません。

(2)　選抜方法

試験は、面接により次のとおり受験者１名に対して 30 分以内で実施します。

面接は、PC 等から利用可能な本学指定のウェブ会議システムを使用し、オンライン形式により実施します。オンライン入試では、ウェブカメラとマイクが必要です。詳細は、本学ホームページにて公開の「オンライン入試 Q&A」を十分確認の上、受験に必要な設備及び通信環境を自身で準備しておいてください。なお、本学と各受験者の間で各試験期日の数日前（平日）から事前接続テストを実施します。

［オンライン入試 Q&A URL］
https://www.jaist.ac.jp/admissions/outline/qa-m-online.html

①　出願時に提出した小論文の内容の口頭発表

・口頭発表時間は７分以内
・口頭発表資料はPDF などにより静止画像（ページ枚数は自由、横（辺の長いほうが上下にくる）向き資料推奨）で作成してください。
・口頭発表は、ウェブ会議システムの共有機能等により、資料を全画面にて表示し実施します。
・発表時、手持ちの紙原稿の使用は認めますが、その他の資料・機器等の持ち込みや配付は認めません。

②　出願時に提出した小論文・エントリーシートの内容に関する口頭試問

・口頭試問時間は 23 分以内
・口頭試問では、記述説明を求めることがあります。記述説明用の用紙（罫線無しの白紙の A4 サイズを 5 枚程度）及びペン（黒・青等のフェルトペン）を準備してください。面接委員から記述説明を求められた場合は、用紙に記述の上、ウェブカメラに表示し説明してください。

(3)　評価基準及び合否判定基準

面接試験では、入学後に学修・研究を行う上で必要な基礎的な学力・能力や意欲等について総合評価します。

面接試験の結果及び出願書類を総合判定して合格者を決定します。

８．合格者の発表及び入学手続

(1)　合格者発表日及び入学手続

次のそれぞれの合格者発表日に、受験者全員に合否結果通知書を発送するとともに、合格者の受験番号を本学ホームページに掲載します。

併せて、融合科学共同専攻対象奨学金（給付型）の支給の可否を記載した文書を発送します。

また、電話・メール等による合否の問合せには一切応じません。

入学手続は、合格者発表時に送付する「入学手続案内」により、入学手続期限までに行ってください。

試験区分			合格者発表日	入学手続期限
一般選抜	令和７年４月入学	第１回	令和６年 7 月 19 日(金)	令和６年 9 月中旬予定
		第２回	令和６年 10 月 25 日(金)	令和６年 11 月下旬予定

(2)　入学時納付金

区分		金額	摘要
①入学料		282,000 円	・入学手続書類に同封する振込依頼書により納付してください。 ・納付された入学料は返還しません。
②授業料	前・後期各	267,900 円	・全国の銀行・信用金庫・信用組合及びゆうちょ銀行の「預金口座からの振替（引落し）」による納付方法を導入しています（農協及び漁協は利用不可）。 ・授業料の振替日は、前期分が毎年 5 月 20 日、後期分が毎年 11 月 20 日です。 ・年額での納付も可能です。
	年額	535,800 円	
③保険料 (2 年分：学生教育研究災害傷害保険・学生教育研究賠償責任保険)		2,430 円	・左記 2 つの保険をセットで全員に加入を義務づけています。

（注）１．納付金についての詳細は入学手続時に通知します。
２．入学時及び在学中に納付金①②の改定が行われた場合には、改定時から新入学料及び新授業料を適用します。
３．国費外国人留学生は、納付金①②の納付を要しません。

９．その他の重要事項

「Ⅲ．重要事項」を必ず確認してください。

Ⅱ．入学者選抜

２．特別選抜

２－１．随時特別選抜

２－１．随時特別選抜

随時特別選抜は、明確な研究テーマを持つ意欲の高い博士前期課程志望者が、指導を希望する主任研究指導教員（5 頁参照）から事前に面接試験実施の内諾を得た後、面接試験を行う日時を本学が随時に設定するものです。

１．募集人員

研究科	専攻	募集人員
		令和 7 年 4 月入学
先端科学技術研究科	融合科学共同専攻	若干名（注 1, 2）

（注 1）他の特別選抜の募集人員を含みます。

（注 2）募集人員に達した場合、最終出願締切前であっても本選抜による募集を終了することがあります。本選抜による募集を終了する場合、本学ホームページ上でその旨をお知らせします。

２．出願資格

入学希望月の前月末日までに次のいずれかに該当し、合格した場合は入学を確約できる者。

(1)　日本の大学を卒業した者

(2)　大学改革支援・学位授与機構から学士の学位を授与された者（学校教育法第 104 条第 7 項の規定により学士の学位を授与された者）

(3)　外国において学校教育における 16 年の課程を修了した者

(4)　我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における 16 年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者

(5)　外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における 16 年の課程を修了した者

(6)　外国の大学その他の外国の学校（その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。）において、修業年限が 3 年以上である課程を修了すること（当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって文部科学大臣の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含む。）により、学士の学位に相当する学位を授与された者

(7)　専修学校の専門課程（修業年限が 4 年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者

(8)　文部科学大臣の指定した者（文部科学省所管外の大学校等を卒業した者等）

(9)　本学が認める飛び入学者

次に掲げる事項を満たし、本学の定める単位（当該大学の卒業又は外国における大学の教育課程に相当する教育課程の修了に必要な単位数のうちおおむね 4 分の 3 以上）を優秀な成績で修得したと認めたもの

① 日本の大学に3年以上在学した者
② 外国において学校教育における15年の課程を修了した者
③ 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における15年の課程を修了した者
④ 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における15年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が指定するものの当該課程を修了した者

(10) 学校教育法第102条第2項の規定により大学院に入学した者であって、当該者をその後に入学させる本学において、大学院における教育を受けるにふさわしい学力があると認めたもの（本学における出願資格(9)に相当する資格により他の大学院へ入学し、その後本学への入学を希望する者等）

(11) 本学において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、22歳に達したもの

※上記出願資格(1)～(8)のいずれかに該当する場合は、入学資格審査を受ける必要はありませんので、「３．出願締切」に進んでください。

［入学資格審査］

出願資格(9)、(10)、(11)により出願を希望する場合は、出願前に入学資格審査を行うので、入学資格審査要項及び出願調書等を本学ホームページ（入学案内→学生募集要項）からダウンロードし、直接入力・印刷の上、「出願予定日の１か月前」までに審査書類を提出してください。

また、最終提出締切は次の日です。

試験区分	最終提出締切（必着）
令和7年4月入学	令和6年12月20日(金)

入学資格審査の詳細については、入学資格審査要項を参照してください。

［入学資格審査URL］
https://www.jaist.ac.jp/admissions/application-guide/Eligibility.html

なお、出願資格(9)①で本学に入学した場合、学部学生としての履歴は退学となり、学部卒業（学士）が条件となっている各種国家試験等においては受験等の資格がないので十分注意してください。

審査結果通知書は、審査書類を提出後１か月程度で本人宛に発送します。審査結果通知書が届かない場合は、教育支援課入試係(Email:nyushi@ml.jaist.ac.jp)まで問い合わせてください。入学資格を認められた場合に限り、出願することができます。

３．出願締切

出願締切は試験希望日（いずれか早い日）の3週間前（当日消印有効）です。最終出願締切は次の日です。

試験区分	最終出願締切	
令和7年4 月入学	令和7年 1 月31日(金)	当日消印有効

４．出願手続

出願手続前に出願者はあらかじめ指導を希望する教員に連絡をとり、その教員を面接委員とする面接試験実施の内諾を得てください。内諾を得た場合は、試験希望日についてもその教員に相談してください。

(1) 出願方法

本選抜は出願手続を郵送で行います。出願書類は一括して、角２封筒（出願者の氏名・住所を明記し、「博士前期課程（融合科学共同専攻）随時特別選抜・出願書類在中」と朱書きすること）に入れ、速達書留郵便（海外からの場合は DHL、EMS 等）で提出してください。なお、教育支援課入試係窓口に持参し、提出することも可能です。

(2) 出願書類

出願書類は所定の様式及び証明書類です。

所定の様式は、本学ホームページ（入学案内→所定の様式）からダウンロードしたものに直接入力し、印刷してください。

パソコンによる入力を推奨しますが、手書きする場合は、必ず黒のペン又はボールペンで記入してください（消せるものや時間の経過により字が消えるものは使用不可）。

［所定の様式ダウンロード URL］
https://www.jaist.ac.jp/admissions/application-form/form-yugom.html

① 出願者全員が提出する書類

所定の様式	備　　考
入学願書（随時特別選抜用）	随時特別選抜用を使用すること。
小論文	**課題：「本専攻入学後に取り組みたい分野融合を含む研究課題について」** 研究の背景、目的、内容、方法等を自分の考えに基づいて記述すること。なお、研究の準備状況やこれまでの研究（たとえば卒業研究）との関連あるいは専門を変える理由等を追加してもよい。 書類は日本語 1,000 字程度又は英語 600 ワード程度で横書き。 また、11 ポイント以上のフォントを用いA4 判片面 1 枚に収めること（補足資料の添付は不可）。
エントリーシート	以下について記入すること。 ① ３つの挑戦的なイノベーションの枠組み（３つのチャレンジ）（4 頁参照）のうち、希望する１つを記入すること。 ② 関心の高い研究室（主任研究指導教員（5 頁参照）の中から、関心の高い教員名をフルネームで記入。複数可。） ③ これまでに履修した授業のうち、得意な専門科目（3 科目） ④ 本学を志望する理由 ⑤ 本学博士前期課程修了後のキャリア目標 書類は 11 ポイント以上のフォントを用いA4 判片面 1 枚に収めること（補足資料の添付は不可）。

特定類型該当性の自己申告書	
受験票	入学願書と同じ写真を貼付すること。
宛名シート	「受験票」「合否結果通知書」「入学手続案内」等の郵送に使用。出願後、住所を変更した場合は、速やかに新住所を連絡すること（自宅以外は不可）。

証明書類 (注1)	備　　考
成績証明書 ※写し（コピー）不可	出願資格を満たす出身の大学長、学部長等が日本語又は英語で作成したものを提出すること。日本語又は英語での作成ができない場合は、自国の大使館、総領事館等の公的機関で作成又は証明した日本語又は英語の訳文（日本語学校又は翻訳会社の公印付きの翻訳文書も認める）を併せて提出すること。 編入学等により認定されている科目がある場合又は短期大学・高等専門学校の専攻科に進学した場合は、前学校（大学、短期大学、高等専門学校本科）の成績証明書も併せて提出すること。 出願資格(9)～(11)のいずれかに該当する者は提出不要。
卒業（見込）証明書 ※写し（コピー）不可	出願資格を満たす出身の大学長、学部長等が日本語又は英語で作成した卒業（見込）日入りのものを提出すること。日本語又は英語での作成ができない場合は、自国の大使館、総領事館等の公的機関で作成又は証明した日本語又は英語の訳文（日本語学校又は翻訳会社の公印付きの翻訳文書も認める）を併せて提出すること。 出願資格(9)～(11)のいずれかに該当する者は提出不要。
検定料払込証明書 ※写し（コピー）可	**検定料：30,000 円**（国費外国人留学生は不要） ※振込手数料は受験者負担 納入方法：以下の本学指定の振込先銀行口座に「電信扱」で振り込み、振込金受取書や取引明細書等、振り込んだことが分かる書類を提出すること。 また、必ず本人名義で振り込むこと。 振込先銀行：北陸銀行　金沢南中央支店　普通　6037485 口座名：国立大学法人北陸先端科学技術大学院大学 ｺｸﾘﾂﾀﾞｲｶﾞｸﾎｳｼﾞﾝﾎｸﾘｸｾﾝﾀﾝｶｶﾞｸｷﾞｼﾞｭﾂﾀﾞｲｶﾞｸｲﾝﾀﾞｲｶﾞｸ

②　該当者のみ提出する書類

＜出願資格(2)（3）(6)該当者＞

証明書類 (注1)	備　　考
学士の学位授与（申請受理・申請予定）証明書 ※写し（コピー）不可	大学改革支援・学位授与機構、在籍する学校長等が日本語又は英語で作成したもの。日本語又は英語での作成ができない場合は、自国の大使館、総領事館等の公的機関で作成又は証明した日本語又は英語の訳文（日本語学校又は翻訳会社の公印付きの翻訳文書も認める）を併せて提出すること。 卒業証明書等で学位取得が確認できる場合は提出不要。

＜出願資格(3)（4）(5)（6)該当者＞

所定の様式	備　　考
学校教育等履歴書	大学に限らず、外国において学校教育を受けた出願者は提出が必要。

＜外国籍の出願者＞

証明書類	備　　考
パスポートの写し	外国籍の出願者は、出願期間内に有効なパスポート（氏名が記載されたページ）の写しを提出すること。また、出願時に日本に在留している者は、在留カード（両面）の写しも併せて提出すること。 なお、出願時に海外に在住している者で、出願期間内に有効なパスポートを所持していない者のみ、パスポートに代えて、本国の戸籍謄本、市民権等の証明書の写しを認める。この場合は、次の点に注意すること。 ・日本語又は英語以外で作成されたものの場合は日本語又は英語の訳文を併せて提出すること。 ・提出する写しには「有効なパスポートを所持していない」旨を自書すること。
在留カードの写し	

＜他大学に在学している国費外国人留学生（文部科学省）＞

証明書類 (注1)	備　　考
国費留学生証明書 ※写し（コピー）不可	当該大学が作成したもので、奨学金支給期間が明記されているもの。

＜外国政府派遣留学生＞

証明書類	備　　考
外国政府派遣留学生証明書 ※写し（コピー）可	外国政府派遣留学生であることを証明又は確認できるもの。

＜婚姻等により証明書と氏名が異なる者＞

証明書類	備　　考
戸籍抄本等	旧氏名、新氏名が確認できるもの。

(注1)「写し（コピー）不可」について

証明書は写し（コピー）ではなく、原本を提出してください。なお、偽造防止処理のない用紙に電子押印された証明書の場合、出身大学等による厳封がされていないものは受理しません。

原本の提出ができない場合は、Certified True Copy（原本から正しく複製されたものであることが出身大学又は大使館、総領事館等の公的機関によって証明されたもの）を提出してください。

［郵送・提出先］〒923-1292　石川県能美市旭台１－１
北陸先端科学技術大学院大学　教育支援課入試係
窓口受付時間：9時～17時　（土日・祝日等を除く）

５．受験票の発送

出願書類を受理した時は、出願書類受理後２週間以内に本学から受験票を本人宛に発送します。

６．試験期日及び選抜方法

(1)　試験期日及び場所

次の試験区分に対応した試験可能期間のうち、本学が指定した１日に**本学（石川キャンパス）**で試験を行います。

試験日時は、発送する受験票で通知します。

試験区分	試験可能期間※
令和７年４月入学	令和６年 7 月 29 日(月)～令和７年 2 月 20 日(木)

※土日・祝日等を除く。

(2)　選抜方法

試験は、面接により次のとおり受験者１名に対して 30 分以内で実施します。

①　出願時に提出した小論文の内容の口頭発表

・口頭発表時間は７分以内

・口頭発表のため、プロジェクター（普通紙をガラス面に載せるだけでスクリーンへ映し出せる書画カメラ機能付のもの）を試験室に準備するので、当日に A4 サイズの紙の資料１部（枚数は自由（ただしホッチキス止めはしないこと）、横（辺の長いほうが上下にくる）向き資料推奨）を持参してください。

・発表時、手持ちの紙原稿の使用は認めますが、その他の資料・機器等の持ち込みや配付は認めません。

②　出願時に提出した小論文・エントリーシートの内容に関する口頭試問

・口頭試問時間は 23 分以内

(3)　評価基準及び合否判定基準

面接試験では、入学後に学修・研究を行う上で必要な基礎的な学力・能力や意欲等について総合評価します。

面接試験の結果及び出願書類を総合判定して合格者を決定します。

７．合格者の発表及び入学手続

(1)　合格者発表

合格者発表日は受験票に同封の通知書に記載します。合格者発表日に受験者宛に合否結果通知書を発送します。

併せて、融合科学共同専攻対象奨学金（給付型）の支給の可否を記載した文書を発送します。

ホームページへの掲載は行いません。また、電話・メール等による合否の問合せには一切応じません。

(2)　入学手続

入学手続は、合格者発表時に送付する「入学手続案内」により、入学手続期限までに行ってください。

試験区分	入学手続期限
令和 7 年 4 月入学	時期は試験実施日によるが合格発表日より概ね 1～2 か月程度以内

(3)　入学時納付金

区分		金額	摘要
①入学料		282,000 円	・入学手続書類に同封する振込依頼書により納付してください。 ・納付された入学料は返還しません。
②授業料	前・後期各	267,900 円	・全国の銀行・信用金庫・信用組合及びゆうちょ銀行の「預金口座からの振替（引落し）」による納付方法を導入しています（農協及び漁協は利用不可）。 ・授業料の振替日は、前期分が毎年 5 月 20 日、後期分が毎年 11 月 20 日です。 ・年額での納付も可能です。
	年額	535,800 円	
③保険料 (2 年分：学生教育研究災害傷害保険・学生教育研究賠償責任保険)		2,430 円	・左記 2 つの保険をセットで全員に加入を義務づけています。

（注）１．納付金についての詳細は入学手続時に通知します。

２．入学時及び在学中に納付金①②の改定が行われた場合には、改定時から新入学料及び新授業料を適用します。

３．国費外国人留学生は、納付金①②の納付を要しません。

８．その他の重要事項

(1)　本選抜試験に合格した場合でも、希望する研究室へ配属されるための「入学前内定」を希望する場合は、他の選抜試験と同様、「配属研究室入学前内定制度」による申請が必要です。詳細は、本学ホームページ（トップページ→教育→教務に関する各種制度→配属研究室入学前内定制度）を確認してください。

(2)　「Ⅲ．重要事項」を必ず確認してください。

Ⅱ．入学者選抜

２．特別選抜

２－２．推薦入学特別選抜

２－２－１．

海外在住者対象推薦入学特別選抜

２－２－１．海外在住者対象推薦入学特別選抜

出願時点で海外に在住している者で、学長、学部長、学科長、学部での指導教員、勤務先所属長等により優秀と認められ、推薦された研究意欲の高い学生に対し、大学院への進学の機会を拡げることを目的として、渡日せずに受験できる海外在住者対象推薦入学特別選抜を実施しています。

１．募集人員

研究科	専攻	募集人員
		令和７年４月入学
先端科学技術研究科	融合科学共同専攻	若干名（注1）

（注1）他の特別選抜の募集人員を含みます。

２．出願資格

入学希望月の前月末日までに次のいずれかに該当する者で、かつ、出願時点で海外に在住している者。

(1)　日本の大学を卒業した者

(2)　大学改革支援・学位授与機構から学士の学位を授与された者（学校教育法第104条第７項の規定により学士の学位を授与された者）

(3)　外国において学校教育における16年の課程を修了した者

(4)　我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者

(5)　外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者

(6)　外国の大学その他の外国の学校（その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。）において、修業年限が３年以上である課程を修了すること（当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって文部科学大臣の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含む。）により、学士の学位に相当する学位を授与された者

(7)　専修学校の専門課程（修業年限が４年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者

(8)　文部科学大臣の指定した者（文部科学省所管外の大学校等を卒業した者等）

(9)　本学が認める飛び入学者

次に掲げる事項を満たし、本学の定める単位（当該大学の卒業又は外国における大学の教育課程に相当する教育課程の修了に必要な単位数のうちおおむね４分の３以上）を優秀な成績で修得したと認めたもの

①　日本の大学に３年以上在学した者

②　外国において学校教育における15年の課程を修了した者

③　外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における 15 年の課程を修了した者

④　我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における 15 年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が指定するものの当該課程を修了した者

(10) 学校教育法第 102 条第 2 項の規定により大学院に入学した者であって、当該者をその後に入学させる本学において、大学院における教育を受けるにふさわしい学力があると認めたもの（本学における出願資格(9)に相当する資格により他の大学院へ入学し、その後本学への入学を希望する者等）

(11) 本学において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、22 歳に達したもの

※上記出願資格(1)～(8)のいずれかに該当する場合は、入学資格審査を受ける必要はありませんので、「３．出願手続」に進んでください。

［入学資格審査］

出願資格(9)、(10)、(11)により出願を希望する場合は、出願前に入学資格審査を行うので、入学資格審査要項及び出願調書等を本学ホームページ(入学案内→学生募集要項)からダウンロードし、直接入力・印刷の上、次の期日までに審査書類を提出してください。

試験区分	提出締切日（必着）
令和 7 年 4 月入学	令和 6 年 10 月 4 日(金)

入学資格審査の詳細については、入学資格審査要項を参照してください。

［入学資格審査 URL］
https://www.jaist.ac.jp/admissions/application-guide/Eligibility.html

審査結果は、事前提出締切日の 1 週間前までに本人宛に通知します。審査結果通知書が届かない場合は、教育支援課入試係(Email:nyushi@ml.jaist.ac.jp)まで問い合わせてください。入学資格を認められた場合に限り、出願することができます。

３．出願手続

次のⅠ～Ⅲの順に、出願手続を行ってください。

Ⅰ 内諾

出願手続前に出願者はあらかじめ希望主任研究指導教員（5 頁参照）に連絡をとり、研究室受入れの内諾を得てください。

ただし、この内諾は合格を確約するものではありません。

Ⅱ 出願書類事前提出

次の締切までにデータ化（PDF 化）した出願書類一式を電子メールで本学**教育支援課入試係**(Email:nyushi@ml.jaist.ac.jp）宛に送付してください。その後、出願書類に不備等が無いかを

確認し、その結果を本人宛に連絡します（出願書類は「４．出願書類」を参照すること）。

試験区分	事前提出締切日
令和７年４月入学	令和６年11月14日(木)

※電子メールの件名を「(名前) TDS M海外在住者対象推薦入学　出願書類事前提出」にすること。

※電子メールで出願書類一式を提出する際、出願書類（検定料払込証明書を含む）のみを提出し、それ以外の書類は提出不要。

※この事前提出は必須ではないが、出願書類に不備があった場合は出願不受理となるので、なるべく早めに事前提出し、確認を受けることが望ましい。

※事前提出締切後に提出された出願書類のデータは原則受け付けないので、Ⅲにより直接原本を提出すること。

Ⅲ 出願

(1)　出願方法

出願書類の原本を一括して封筒（出願者の氏名・住所を明記すること）に入れ、DHL、EMS 等で教育支援課入試係へ郵送してください。

［送付先］Admissions Section
Japan Advanced Institute of Science and Technology (JAIST)
1-1 Asahidai Nomi Ishikawa 923-1292 JAPAN

※DHL、EMS 等で郵送する際、追跡番号を教育支援課入試係（Email:nyushi@ml.jaist.ac.jp）宛にご連絡ください。

(2)　出願期間

試験区分	出願期間（期間内の消印有効）
令和７年４月入学	令和６年11月６日(水)～28日(木)

４．出願書類

出願書類は所定の様式及び証明書類です。

所定の様式は、本学ホームページ（入学案内→所定の様式）からダウンロードしたものに直接入力し、印刷してください。

パソコンによる入力を推奨しますが、手書きする場合は、必ず黒のペン又はボールペンで記入してください（消せるものや時間の経過により字が消えるものは使用不可）。

［所定の様式ダウンロードURL］
https://www.jaist.ac.jp/admissions/application-form/form-yugom.html

(1) 出願者全員が提出する書類

所定の様式	備　　考
入学願書（海外在住者対象推薦入学特別選抜用）	海外在住者対象推薦入学特別選抜用を使用すること。
学校教育等履歴書	

志望理由書	書類は 11 ポイント以上のフォントを用い A4 判片面 1 枚に収めること（補足資料の添付は不可）。
小論文	**課題：「本専攻入学後に取り組みたい分野融合を含む研究課題について」** 研究の背景、目的、内容、方法等を自分の考えに基づいて記述すること。なお、研究の準備状況やこれまでの研究（たとえば卒業研究）との関連あるいは専門を変える理由等を追加してもよい。 書類は日本語 1,000 字程度又は英語 600 ワード程度で横書き。 また、11 ポイント以上のフォントを用い A4 判片面 1 枚に収めること（補足資料の添付は不可）。
特定類型該当性の自己申告書	

証明書類（注 1）	備　　考
研究室受入文書	【様式任意】 希望主任研究指導教員の研究室受入れの内諾を得たことが分かる電子メール等の文書
推薦書　２通 ※写し（コピー）不可	【様式任意】 学長、学部長、学科長、学部での指導教員、勤務先所属長等（２名）が日本語又は英語で作成したもの（日付・推薦者氏名・推薦者所属機関名・職名・署名入り）。記入にあたっては、本人の勉学に対する意欲、素質、適性及びこれまで行ってきた研究等についての詳細の記入を受けること。
成績証明書 ※写し（コピー）不可	出願資格を満たす出身の大学長、学部長等が日本語又は英語で作成したものを提出すること。日本語又は英語での作成ができない場合は、自国の大使館、総領事館等の公的機関で作成又は証明した日本語又は英語の訳文（日本語学校又は翻訳会社の公印付きの翻訳文書も認める）を併せて提出すること。 編入学等により認定されている科目がある場合又は短期大学・高等専門学校の専攻科に進学した場合は、前学校（大学、短期大学、高等専門学校本科）の成績証明書も併せて提出すること。 出願資格(9)～(11)のいずれかに該当する者は提出不要。
卒業（見込）証明書 ※写し（コピー）不可	出願資格を満たす出身の大学長、学部長等が日本語又は英語で作成した卒業（見込）日入りのものを提出すること。日本語又は英語での作成ができない場合は、自国の大使館、総領事館等の公的機関で作成又は証明した日本語又は英語の訳文（日本語学校又は翻訳会社の公印付きの翻訳文書も認める）を併せて提出すること。 出願資格(9)～(11)のいずれかに該当する者は提出不要。

<table>
<tr><td>検定料払込証明書
※写し（コピー）可</td><td>検定料 30,000 円を在住国の金融機関から下記の口座まで送金し、払い込んだことが分かる書類を提出すること。
また、必ず本人名義で振り込むこと。

<table>
<tr><td>Bank Name</td><td>The Hokuriku Bank, Ltd.</td></tr>
<tr><td>Branch Name</td><td>Kanazawaminamichuo Branch</td></tr>
<tr><td>Branch Address</td><td>1-32-38, Teraji, Kanazawa, Ishikawa, Japan</td></tr>
<tr><td>Beneficiary</td><td>Japan Advanced Institute of Science and Technology</td></tr>
<tr><td>Type of Account</td><td>Ordinary savings account</td></tr>
<tr><td>Account Number</td><td>6037485</td></tr>
<tr><td>SWIFT(BIC) Code</td><td>RIKBJPJT</td></tr>
</table>

[注]送金手続はできるだけ早く行うこと。銀行で手続をする際、コルレスチャージ（支払銀行手数料）は「支払人負担」です。誤って「受取人負担」にすると、送金額から手数料が差し引かれ、検定料入金額が不足します（この場合、出願は受理しません）。
なお、国費外国人留学生は検定料不要。</td></tr>
</table>

(2)　該当者のみ提出する書類

＜出願資格(2)（3）(6)該当者＞

証明書類 (注 1)	備　　考
学士の学位授与（申請受理・申請予定）証明書 ※写し（コピー）不可	大学改革支援・学位授与機構、在籍する学校長等が日本語又は英語で作成したもの。日本語又は英語での作成ができない場合は、自国の大使館、総領事館等の公的機関で作成又は証明した日本語又は英語の訳文（日本語学校又は翻訳会社の公印付きの翻訳文書も認める）を併せて提出すること。 卒業証明書等で学位取得が確認できる場合は提出不要。

＜外国籍の出願者＞

証明書類	備　　考
パスポートの写し	外国籍の出願者は、出願期間内に有効なパスポート（氏名が記載されたページ）の写しを提出すること。 なお、出願期間内に有効なパスポートを所持していない者のみ、パスポートに代えて、本国の戸籍謄本、市民権等の証明書の写しを認める。この場合は、次の点に注意すること。 ・日本語又は英語以外で作成されたものの場合は日本語又は英語の訳文を併せて提出すること。 ・提出する写しには「有効なパスポートを所持していない」旨を自書すること。

＜外国政府派遣留学生＞

証明書類	備　　考
外国政府派遣留学生証明書 ※写し（コピー）可	外国政府派遣留学生であることを証明又は確認できるもの。

(注 1)「写し（コピー）不可」について

証明書は写し（コピー）ではなく、原本を提出してください。なお、偽造防止処理のない用紙

に電子押印された証明書の場合、出身大学等による厳封がされていないものは受理しません。

原本の提出ができない場合は、Certified True Copy（原本から正しく複製されたものであることが出身大学又は大使館、総領事館等の公的機関によって証明されたもの）を提出してください。

５．選抜方法

出願を受理した場合、専門分野等を考慮した上で本学で面談担当教員を決定します。

その後、面談担当教員から受験者へ連絡しますので、面談の日程、場所、方法等について相談の上、決定してください。面談は、主にWEBコミュニケーションツール等を用いて行い、詳しい研究内容・学生生活等について話し合います。

面談の結果及び出願書類を総合判定して合格者を決定します。

６．合格者の発表及び入学手続

(1)　合格者発表日及び入学手続

次の合格者発表日に、受験者全員に合否結果を通知します。

併せて、融合科学共同専攻対象奨学金（給付型）の支給の可否を通知します。

ホームページへの掲載は行いません。また、電話・メール等による合否の問合せには一切応じません。

入学手続は、合格者発表時に通知する「入学手続案内」により、入学手続期限までに行ってください。

試験区分	合格者発表日	入学手続期限
令和 7 年 4 月入学	令和 7 年 1 月 24 日(金)	令和 7 年 2 月下旬予定

(2)　入学時納付金

<table>
<tr><th colspan="2">区分</th><th>金額</th><th>摘要</th></tr>
<tr><td colspan="2">①入学料</td><td>282,000 円</td><td>・納付された入学料は返還しません。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">②授業料</td><td>前・後期各</td><td>267,900 円</td><td rowspan="2">・授業料の振替日は、前期分が毎年 5 月 20 日、後期分が毎年 11 月 20 日です。
・年額での納付も可能です。</td></tr>
<tr><td>年額</td><td>535,800 円</td></tr>
<tr><td colspan="2">③保険料
(2 年分：学生教育研究災害傷害保険・学生教育研究賠償責任保険)</td><td>2,430 円</td><td>・左記 2 つの保険をセットで全員に加入を義務づけています。</td></tr>
</table>

（注）１．納付金についての詳細は入学手続時に通知します。

２．入学時及び在学中に納付金①②の改定が行われた場合には、改定時から新入学料及び新授業料を適用します。

３．国費外国人留学生は、納付金①②の納付を要しません。

７．その他の重要事項

「Ⅲ．重要事項」を必ず確認してください。

Ⅱ．入学者選抜

２．特別選抜

２－２．推薦入学特別選抜

２－２－２．

協定校対象推薦入学特別選抜

２－２－２．協定校対象推薦入学特別選抜

本学では、有為な研究者及び技術者を育成するため、大学や高等専門学校と推薦入学に関する協定を締結し信頼関係を築いて、協定校が人物及び学力共に優秀と認めて推薦する学生を受け入れています。

なお、本学は、専攻科を設置する国内全ての高等専門学校と推薦入学協定を締結しています。

１．募集人員

研究科	専攻	募集人員
		令和７年４月入学
先端科学技術研究科	融合科学共同専攻	若干名（注1,2）

（注１）他の特別選抜の募集人員を含みます。

（注２）募集人員に達した場合、最終出願締切前であっても本選抜による募集を終了することがあります。本選抜による募集を終了する場合、本学ホームページ上でその旨をお知らせします。

２．出願資格

本学と推薦入学協定を締結している大学、短期大学、高等専門学校、大学校に所属する者で、次のいずれかに該当し、合格した場合は入学を確約できる者。

(1)　日本の大学を入学希望月の前月に卒業見込みの者

(2)　短期大学専攻科又は高等専門学校専攻科を修了見込みの者で、入学希望月の前月に大学改革支援・学位授与機構において学士の学位を授与される見込みの者

(3)　大学改革支援・学位授与機構が認定している文部科学省所管外の大学校を入学希望月の前月に卒業見込みの者

３．出願締切

随時受け付けますが、最終出願締切は次の日です。

試験区分	最終出願締切	
令和７年４月入学	令和６年 ９ 月 30 日(月)	当日消印有効

４．出願手続

次のⅠ～Ⅱの順に、出願手続を行ってください。

Ⅰ 内諾

出願手続前に出願者はあらかじめ希望主任研究指導教員（5 頁参照）に連絡をとり、融合科学共同専攻の協定校対象推薦入学特別選抜としての研究室受入れの内諾を得てください。

ただし、この内諾は合格を確約するものではありません。

※本学の主任研究指導教員は、先端科学技術専攻の学生の受入れも行っているため、内諾を得る際には、必ず融合科学共同専攻の協定校対象推薦入学特別選抜である旨を伝えてください。

Ⅱ 出願

(1) 出願方法

本選抜は出願手続を郵送で行います。出願書類は一括して、角２封筒（出願者の氏名・住所を明記し、「博士前期課程（融合科学共同専攻）協定校対象推薦入学特別選抜・出願書類在中」と朱書きすること）に入れ、速達書留郵便で提出してください。なお、教育支援課入試係窓口に持参し、提出することも可能です。

(2) 出願書類

出願書類は所定の様式及び証明書類です。

所定の様式は、本学ホームページ（入学案内→所定の様式）からダウンロードしたものに直接入力し、印刷してください。

パソコンによる入力を推奨しますが、手書きする場合は、必ず黒のペン又はボールペンで記入してください（消せるものや時間の経過により字が消えるものは使用不可）。

［所定の様式ダウンロードURL］
https://www.jaist.ac.jp/admissions/application-form/form-yugom.html

所定の様式 (注1)	備　　考
入学願書（協定校対象推薦入学特別選抜用）	協定校対象推薦入学特別選抜用を使用すること。
小論文	**課題：「本専攻入学後に取り組みたい分野融合を含む研究課題について」** 研究の背景、目的、内容、方法等を自分の考えに基づいて記述すること。なお、研究の準備状況やこれまでの研究（たとえば卒業研究）との関連あるいは専門を変える理由等を追加してもよい。 書類は日本語1,000字程度又は英語600ワード程度で横書き。 また、11ポイント以上のフォントを用いA4判片面1枚に収めること（補足資料の添付は不可）。
エントリーシート	以下について記入すること。 ① ３つの挑戦的なイノベーションの枠組み（３つのチャレンジ）（4頁参照）のうち、希望する１つを記入すること。 ② 関心の高い研究室（主任研究指導教員（5 頁参照）の中から、関心の高い教員名をフルネームで記入。複数可。） ③ これまでに履修した授業のうち、得意な専門科目（3科目） ④ 本学を志望する理由 ⑤ 本学博士前期課程修了後のキャリア目標 書類は11ポイント以上のフォントを用いA4判片面1枚に収めること（補足資料の添付は不可）。
推薦書 ※写し（コピー）不可	所属の大学長、学部長、短期大学長、高等専門学校長、大学校の校長（以下、「大学長等」という。）が作成したもの。
特定類型該当性の自己申告書	
受験票	入学願書と同じ写真を貼付すること。

宛名シート	「受験票」「合否結果通知書」「入学手続案内」等の郵送に使用。出願後、住所を変更した場合は、速やかに新住所を連絡すること（自宅以外は不可）。

証明書類 (注1)	備　　考
研究室受入文書	【様式任意】 希望主任研究指導教員の融合科学共同専攻での研究室受入れの内諾を得たことが分かる電子メール等の文書
成績証明書 ※写し（コピー）不可	所属の大学長等が日本語又は英語で作成したもの。日本語又は英語での作成ができない場合は、自国の大使館、総領事館等の公的機関で作成又は証明した日本語又は英語の訳文（日本語学校又は翻訳会社の公印付きの翻訳文書も認める）を併せて提出すること。 編入学等により認定されている科目がある場合又は短期大学・高等専門学校専攻科に進学した場合は、前学校（大学、短期大学、高等専門学校本科）の成績証明書も併せて提出すること。
卒業（修了）見込証明書 ※写し（コピー）不可	所属の大学長等が作成した卒業（修了）見込日入りのもの。
席次に関する証明書 ※写し（コピー）不可	【様式任意】 所属の大学長等が作成したもの（何人中何位であるかを必ず記載）。
学士の学位授与申請（予定）証明書 ※写し（コピー）不可	短期大学専攻科又は高等専門学校専攻科修了予定の出願者のみ提出すること。
その他参考資料 ※写し（コピー）可	取得資格などがあれば、それを証明する認定証等を提出すること。日本語又は英語以外で書かれたものの場合は日本語又は英語の訳文を併せて提出すること。 例：電気主任技術者、情報処理技術者、TOEFL、TOEIC、英語検定等
検定料払込証明書 ※写し（コピー）可	**検定料：30,000 円** ※振込手数料は受験者負担 納入方法：以下の本学指定の振込先銀行口座に「電信扱」で振り込み、振込金受取書や取引明細書等、振り込んだことが分かる書類を提出すること。 また、必ず本人名義で振り込むこと。 振込先銀行：北陸銀行　金沢南中央支店　普通　6037485 口座名：国立大学法人北陸先端科学技術大学院大学 ｺｸﾘﾂﾀﾞｲｶﾞｸﾎｳｼﾞﾝﾎｸﾘｸｾﾝﾀﾝｶｶﾞｸｷﾞｼﾞｭﾂﾀﾞｲｶﾞｸｲﾝﾀﾞｲｶﾞｸ

＜外国籍の出願者＞

証明書類	備　　考
パスポートの写し	外国籍の出願者は、出願期間内に有効なパスポート（氏名が記載されたページ）の写しを提出すること。また、出願時に日本に在留している者は、在留カード（両面）の写しも併せて提出すること。 なお、出願時に海外に在住している者で、出願期間内に有効なパスポートを所持していない者のみ、パスポートに代えて、本国の戸籍謄本、市民権等の証明書の写しを認める。この場合は、次の点に注意すること。 ・日本語又は英語以外で作成されたものの場合は日本語又は英語の訳文を併せて提出すること。 ・提出する写しには「有効なパスポートを所持していない」旨を自書すること。
在留カードの写し	

（注 1）「写し（コピー）不可」について

証明書は写し（コピー）ではなく、原本を提出してください。なお、偽造防止処理のない用紙に電子押印された証明書の場合、出身大学等による厳封がされていないものは受理しません。

原本の提出ができない場合は、Certified True Copy（原本から正しく複製されたものであることが出身大学又は大使館、総領事館等の公的機関によって証明されたもの）を提出してください。

［郵送・提出先］〒923-1292　石川県能美市旭台１－１
北陸先端科学技術大学院大学　教育支援課入試係
窓口受付時間：9時～17時　（土日・祝日等を除く）

５．受験票の発送

出願書類を受理した時は、出願書類受理後 2 週間以内に本学から受験票を本人宛に発送します。

６．選抜方法

出願書類を総合判定して合格者を決定します。なお、面談を行うことがあります。

７．合格者の発表及び入学手続

(1)　合格者発表

合格者発表日は、受験票に同封の通知書に記載します。合否結果通知書は、合格者発表日に協定校及び本人宛に発送します。

併せて、融合科学共同専攻対象奨学金（給付型）の支給の可否を記載した文書を本人宛に発送します。

(2)　入学手続

入学手続は、合格者発表時に送付する「入学手続案内」により、入学手続期限までに行ってください。

試験区分	入学手続期限
令和７年４月入学	時期は試験実施日によるが合格発表日より概ね1～2か月程度以内

(3)　入学時納付金

<table>
<tr><th colspan="2">区分</th><th>金額</th><th>摘要</th></tr>
<tr><td colspan="2">①入学料</td><td>282,000円</td><td>・入学手続書類に同封する振込依頼書により納付してください。
・納付された入学料は返還しません。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">②授業料</td><td>前・後期各</td><td>267,900円</td><td rowspan="2">・全国の銀行・信用金庫・信用組合及びゆうちょ銀行の「預金口座からの振替（引落し）」による納付方法を導入しています（農協及び漁協は利用不可）。
・授業料の振替日は、前期分が毎年5月20日、後期分が毎年11月20日です。
・年額での納付も可能です。</td></tr>
<tr><td>年額</td><td>535,800円</td></tr>
<tr><td colspan="2">③保険料
(2年分：学生教育研究災害傷害保険・学生教育研究賠償責任保険)</td><td>2,430円</td><td>・左記2つの保険をセットで全員に加入を義務づけています。</td></tr>
</table>

（注）１．納付金についての詳細は入学手続時に通知します。

２．入学時及び在学中に納付金①②の改定が行われた場合には、改定時から新入学料及び新授業料を適用します。

８．その他の重要事項

(1)　特別な事情により入学辞退の必要が生じた場合は、入学手続期限までに、所属の大学長等から本学学長宛に「入学辞退願（様式任意）」（具体的な理由を明記し、本人が署名・捺印したもの）を提出してください（上記締切日必着）。それを本学が認めた場合に限り、入学辞退となります。

(2)　学士の学位を「取得見込」で合格し、その後、学位を取得できなかった場合、入学後であっても入学許可を取り消します。

(3)　「Ⅲ．重要事項」を必ず確認してください。

Ⅲ．重要事項

１．出願及び受験等に関する注意事項

２．受験上及び修学上において特別な配慮等が必要な場合の事前相談

３．配属研究室入学前内定制度

４．長期履修制度

５．安全保障輸出管理

６．個人情報の取扱い

７．石川キャンパス

※各選抜に関する全ての事項は、出願者が学生募集要項を熟読することによって、必ず本人の責任で確認してください。なお、訂正等があれば本学ホームページ等にてお知らせします。

１．出願及び受験等に関する注意事項

(1)　一つの出願についての合否が発表される前に、本学の他の選抜試験には出願できません。（ただし、融合科学共同専攻の随時特別選抜は除く。）

(2)　出願書類等に不備があるものは受理しません。また、提出後の出願書類等の返還及び記入事項の変更も認めません。

(3)　出願書類等は、証明書・推薦書等（志願者以外の第三者が作成すべきもの）を除き、本人が記入・作成すること。虚偽の事項を記入した、又は当然記入すべき事項を記入しなかったことが判明した場合は、入学後でも入学許可を取消すことがあります。

(4)　出願資格について「見込」で合格し、それを充足した旨の証明書が提出できない場合、入学後であっても入学許可を取り消します。

(5)　納入された検定料は、為替レート等による過払い金も含め、原則返還しません。ただし、次に該当した場合にのみ返還するので、入学月の末日までに教育支援課入試係へ連絡してください。

①　検定料を振込済であるが本学に出願しなかった（出願書類等を提出しなかった又は出願が受理されなかった）場合

②　検定料を誤って二重に振り込んだ場合

(6)　試験時において、他者によるなりすまし受験行為、カンニング行為や他者との協力行為等、他の受験者との公平性を欠く行為や、試験の録音・録画等、試験内容を記録に残す行為等またはこれに準ずる行為があったと本学が判断した場合、不正行為とみなし、試験の中止や試験結果を無効とすることがあります。また、入学決定後にこれらの行為があったことが発覚した場合は、入学許可を取り消すことがあります。なお、これらに該当する場合、提出された出願書類及び検定料は返還しません。

(7)　合格した試験の試験区分と異なる年・月に入学することはできません。

(8)　入学後、本学での学修場所は石川キャンパスに限ります（東京サテライトでの学修は不可）。

２．受験上及び修学上において特別な配慮等が必要な場合の事前相談

身体及び心身等に障がい又は病気等があり、受験上及び修学上において特別な配慮又は機器等の持ち込み等を必要とする場合は、出願締切日の１か月前までに下記の書類を教育支援課入試係に提出してください。

(1)　申請書（下記事項を記載、様式任意）

・氏名、専攻、試験区分、受験希望回、連絡先
・障がい等の種類
・受験及び修学に特別な配慮を必要とする事項
・大学等でとられた特別措置
・日常生活の状況
・その他参考となる事項

(2)　その他の参考書類（身体障害者手帳、障害者手帳の写し等）

３．配属研究室入学前内定制度

入学試験合格者に対して、入学前に希望する研究室に配属することを内定する「配属研究室入学前内定制度」があります。

制度の詳細については、本学ホームページ（トップページ→教育→教務に関する各種制度→配属研究室入学前内定制度）を参照してください。

なお、海外在住者対象推薦入学特別選抜及び協定校対象推薦入学特別選抜による入学者は、出願時に

必ず希望主任研究指導教員より「受入れの内諾」を得ていることから、合格後にこの制度に申請することなく、受入れの内諾を得た研究室へ配属されることとなります。

４．長期履修制度

本制度は、職務等の都合により大学での学修が制限され、標準修業年限（博士前期課程は２年、博士後期課程は３年）での修了が困難であることが想定される場合で、かつ、当該学生の申請があった場合に、標準修業年限を超えて一定期間にわたり計画的に履修することをあらかじめ認めるものです。長期履修が許可された場合は、その在学年数にかかわらず標準修業年限分の授業料で履修することができます。

制度の詳細については、本学ホームページ（トップページ→教育→教務に関する各種制度→長期履修制度）を参照してください。

なお、合格者発表日が３月中の者については、入学前に申請を受け付けることができません。入学後にも申請の機会がありますので、入学後に申請してください。

５．安全保障輸出管理

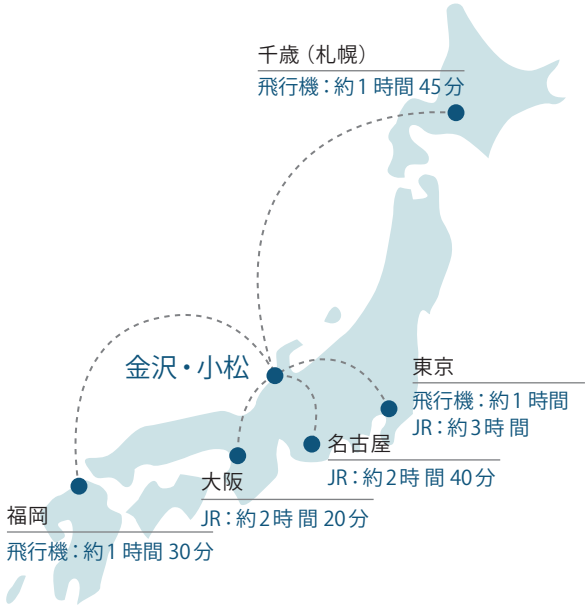
本学では、「外国為替及び外国貿易法」に基づき、「国立大学法人北陸先端科学技術大学院大学安全保障輸出管理規則」を定め、外国人留学生の受入れに際し安全保障輸出管理を行っています。それにより、希望する教育・研究内容の変更を求める場合がありますので、留意してください。

６．個人情報の取扱い

本学では、「国立大学法人北陸先端科学技術大学院大学個人情報管理規則」等を制定し、本学が保有する個人情報の適正な管理と保護に努めています。本学が入学者選抜を通じて取得した個人情報及び入学手続時に提出いただく書類に記載されているすべての個人情報は、次の業務で利用し、これらの目的以外には利用しません。

・入学者選抜及び入学手続に関わる業務
・入学後の学籍管理、修学指導に関わる業務
・入学料・授業料免除、奨学金申請等の修学支援に関わる業務
・入学・授業料及び寄宿料等の納入に関わる業務
・入学者データ等の統計処理業務
・同窓会活動への支援等に関する業務（同窓会活動支援のための同窓会への個人情報の提供も含む）
　※入学者のみ
・その他、本学及び金沢大学（融合科学共同専攻に関するものに限る）の教育・研究、管理・運営上必要な業務

JAISTへのアクセス



小松駅から本学までの間には連絡バス「JAIST Shuttle」（小松線）（無料・予約制）が運行しています。

北陸鉄道鶴来駅から本学までの間には連絡バス「JAIST Shuttle」（鶴来線）（無料）が運行しています。

東京から

- 羽田空港 —飛行機 約1時間→ 小松空港
  - 小松空港 —北鉄加賀バス 約12分→ 小松駅 —JAIST Shuttle 約35分／無料・予約制→ JAIST
  - 小松空港 —タクシー 約40分→ JAIST
- 東京駅（北陸新幹線 金沢駅まで約3時間 小松駅まで約3時間10分）
  - → 小松駅 —JAIST Shuttle 約35分／無料・予約制→ JAIST
  - → 小松駅 —タクシー 約35分→ JAIST
  - → 金沢駅 —IRいしかわ 約5分→ 西金沢駅 —乗換え→ 新西金沢駅 —北陸鉄道石川線 約25分→ 鶴来駅 —JAIST Shuttle 約13分／無料→ JAIST
  - → 金沢駅 —タクシー 約40分→ JAIST
  - → 金沢駅 金沢港口（西口） —北鉄バス 約20分→ 野町駅 —北陸鉄道石川線 約30分→ 鶴来駅 —JAIST Shuttle 約13分／無料→ JAIST

大阪・名古屋から

- 大阪駅 —特急サンダーバード 約1時間20分→ 敦賀駅
- 名古屋駅 —特急しらさぎ 約1時間40分→ 敦賀駅
- 敦賀駅 —北陸新幹線 約45分→ 小松駅 —JAIST Shuttle 約35分／無料・予約制→ JAIST
- 小松駅 —タクシー 約35分→ JAIST

車でお越しの方

自動車
- 北陸自動車道 → 白山IC → 安養寺北交差点 → 川北大橋 → 三ツ口交差点 → JAIST
- 北陸自動車道 → 小松IC → 長崎中交差点 → 上八里町交差点 → 三ツ口交差点 → JAIST

Ⅳ．所定の様式

1-1．入学願書（随時特別選抜用）
1-2．入学願書（海外在住者対象推薦入学特別選抜用）
1-3．入学願書（協定校対象推薦入学特別選抜用）
2．小論文
3．エントリーシート
4．特定類型該当性の自己申告書
5．志望理由書
6．推薦書（所属長用）
7．学校教育等履歴書
8．受験票
9．宛名シート

※所定の様式は本学ホームページ（トップページ→入学案内→所定の様式）からダウンロードし、入力してください。

（随時特別選抜用・融合科学共同専攻）

※欄は記入しないこと。

受験番号	※

令和７年度
北陸先端科学技術大学院大学先端科学技術研究科
融合科学共同専攻博士前期課程入学願書

□には✓でチェックすること

受験する選抜試験名	随時特別選抜			写　真 たて　よこ ４cm×３cm 写真裏面に氏名記入 無帽上半身、正面向で、出願前３か月以内に撮影したもの
入学希望年月	令和７年４月			
フリガナ				
氏　名 外国人留学生は英字で記入	□男 □女			
生年月日	西暦　　年　　月　　日生			
内諾済の 希望主任研究指導教員名		試験希望日	第１希望日 月　日（　）	第２希望日 月　日（　）
出願資格を満たす 最終学歴	□１□２□３□４□５□６□７□８□９□10□11　*募集要項の「出願資格」から１つ選択			
	大学　　学部　　学科			
	西暦　　年　　月 □卒業（修了）　□卒業（修了）見込	*出願資格（９）①のみ記入 第３学年在学中（西暦　　年　　月入学）		
現住所　〒 Email　　携帯電話　　自宅電話				
緊急時の連絡先（帰省先等）住所　〒 氏名　　続柄　　電話				

学　　歴 高等学校から記入。大学においては学部・学科、大学院においては研究科・専攻まで記入。 大学等で研究生として在学歴がある場合は学歴欄にその期間も記入。	
入学・卒業年月（西暦で記入）	学校等の名称
年　月入学～　年　月　□卒業□（　）	高等学校 （所在県・国　　）
年　月入学～　年　月　□卒業□卒業見込	
年　月入学～　年　月　□卒業□卒業見込	
年　月入学～　年　月　□卒業□卒業見込	

職　　歴	
入社・退職年月（西暦で記入）	企業・機関等名称
年　月～　年　月	
年　月～　年　月	
年　月～　年　月	
現有職者選択欄	入学後に［□退職する・□退職しない］予定です。

外国人留学生記入欄　*氏名は英字表記（必ず旅券と同一の表記）で記入			
国　籍		区　分	□私費留学生　□日本政府奨学金留学生　□外国政府派遣留学生
氏　名	Family		
	Given		
	Other（s）		

（海外在住者対象推薦入学特別選抜用 / Recommendation for Overseas Residents
・融合科学共同専攻 / Division of Transdisciplinary Sciences）

受験番号 Examinee's Number	※

※欄は記入しないこと / Official use only

北陸先端科学技術大学院大学先端科学技術研究科
融合科学共同専攻博士前期課程入学願書

Application Form - Master's Program / Japan Advanced Institute of Science and Technology

□には✓でチェックすること。/ Please check the appropriate box.

受験する選抜試験名/ Type of Examination	海外在住者対象推薦入学特別選抜/ Examination for Admission on Recommendation for Overseas Residents		写真 / Photograph たて　よこ 4 cm× 3 cm / 4 cm long × 3 cm wide
入学希望年月/ Admission Term	令和７年４月 / April 2025		
フリガナ			
氏名 / Name 外国人留学生は英字で記入 / International students must write their names in English.		性別 / Gender □男 / Male □女 / Female	
生年月日 / Date of Birth	年 / Year　月 / Month　日 / Day		

希望主任研究指導教員名 / Intended Supervisor	

出願資格を満たす最終学歴 / Eligibility Requirement	□１□２□３□４□５□６□７□８□９□10□11				*募集要項の「出願資格」から１つ選択 / See Eligibility Requirements on the Application Guide.	
	大学名/ University		学部名/ Department		学科名/ Major	
	□卒業 / Graduated □卒業見込 / Will graduate	in	年 / Year	月 / Month		

現住所 / Current Address　〒

Email　携帯電話/ Cell Phone　自宅電話/ Home Phone

緊急時の連絡先住所 / Emergency contact address　〒

氏名 / Name　続柄 / Relationship　電話 / Phone

学　歴 / Educational Background

高等学校から記入。大学においては学部・学科、大学院においては研究科・専攻まで記入。
大学等で研究生として在学歴がある場合は学歴欄にその期間も記入。
Applicants must fill in their educational background starting from high school until the most recent school.
If applicable, please also write any experience as a research student at a university or other institution. Please fill in the department and faculty of the university.

入学・卒業（見込）年月 / Period of (Expected) Attendance	学校等の名称 / Name of School
年/Year　月/Month ～　年/Year　月/Month	高等学校/ Secondary School （所在国/Country　）
年/Year　月/Month ～　年/Year　月/Month	
年/Year　月/Month ～　年/Year　月/Month	
年/Year　月/Month ～　年/Year　月/Month	

職　歴 / Professional Background

入社・退職年月 / Period of Employment	企業・機関等名称/ Name of Organization
年/Year　月/Month ～　年/Year　月/Month	
年/Year　月/Month ～　年/Year　月/Month	
年/Year　月/Month ～　年/Year　月/Month	
現有職者選択欄 / Will you quit your job at the time of enrollment?	入学後に［□退職する・□退職しない］予定です。/(□Yes・□No)

国籍/ Nationality		区分/ Category	□私費留学生 / Privately financed international students □日本政府奨学金留学生 / Japanese government (MEXT) scholarship students □外国政府派遣留学生 / Foreign government scholarship students

氏名 / Name	Family		Given		Other (s)	

言語能力（自己評価を excellent・good・fair・poor から選択）/ Language Proficiency (Evaluate the level as excellent, good, fair or poor.)

	読む/ Reading	書く/ Writing	聞く/ Listening	話す/ Speaking
英　語/ English	□excellent □ good □ fair □ poor	□excellent □ good □ fair □ poor	□excellent □ good □ fair □ poor	□excellent □ good □ fair □ poor
日本語/ Japanese	読む/ Reading □excellent □ good □ fair □ poor	書く/ Writing □excellent ☑ good □ fair □ poor	聞く/ Listening □excellent □ good □ fair □ poor	話す/ Speaking □excellent □ good □ fair □ poor

希望するイノベーション（３つのチャレンジ） / Desired Challenge

選択したイノベーションは、あくまでも入試の参考にするものであり、入学後のイノベーションの選択には一切影響しない。/ This information will be used only for the examination and will not affect the actual desired Challenge.
*「３つの挑戦的なイノベーションの枠組み（３つのチャレンジ）」のうち、希望する１つを選択 / Select one type of "Innovation" in which you want to challenge out of three: Life Innovation, Green Innovation, System Innovation.

□ライフイノベーション / Life Innovation	□グリーンイノベーション / Green Innovation	□システムイノベーション / System Innovation

（協定校対象推薦入学特別選抜用・融合科学共同専攻）

※欄は記入しないこと。

受験番号	※

令和７年度
北陸先端科学技術大学院大学先端科学技術研究科
融合科学共同専攻博士前期課程入学願書

□には✓でチェックすること

受験する選抜試験名	協定校対象推薦入学特別選抜	写　真 たて　よこ ４cm×３cm 写真裏面に氏名記入 無帽上半身、正面向で、出願前３か月以内に撮影したもの
入学希望年月	令和７年４月	
フリガナ		
氏　名 外国人留学生は英字で記入	Family　Given　Other(s)　□男　□女	
生年月日	西暦　年　月　日生	
出願資格を満たす最終学歴	□１□２□３　*募集要項の「出願資格」から１つ選択	
	□大学　□学部　□学科 □高等専門学校　□専攻科　□専攻 □（　）　□（　）　□（　）	
	西暦　年　月　卒業（修了）見込	

現住所　〒		
Email	携帯電話	自宅電話
緊急時の連絡先（帰省先等）住所　〒		
氏名	続柄	自宅電話

学　歴 高等学校から記入。大学においては学部・学科、大学院においては研究科・専攻まで記入。	
入学・卒業年月（西暦で記入）	学校等の名称
年　月入学～　年　月　□卒業　□（　）	高等学校 （所在県・国　）
年　月入学～　年　月　□卒業　□卒業見込	
年　月入学～　年　月　□卒業　□卒業見込	
年　月入学～　年　月　□卒業　□卒業見込	

職　歴	
入社・退職年月（西暦で記入）	企業・機関等名称
年　月～　年　月	
年　月～　年　月	
年　月～　年　月	

外国人留学生記入欄　*氏名は英字表記（必ず旅券と同一の表記）で記入			
国　籍		区　分	□私費留学生　□日本政府奨学金留学生　□外国政府派遣留学生
氏　名	Family		
	Given		
	Other（s）		

（融合科学共同専攻）

※欄は記入しないこと。

※受験番号

小論文「本専攻入学後に取り組みたい分野融合を含む研究課題について」

注　文中に出身大学名、出身大学の指導教員名、勤務先名は記入しないこと。
　　裏面の使用及び補足資料の添付不可。

氏　名： （外国人留学生は英字で記入）

（融合科学共同専攻）

※欄は記入しないこと。

※受験番号

エントリーシート

注　全ての項目は記入必須である。記載内容はあくまでも面接の参考にするものであり、入学後の希望するイノベーション、研究室配属には一切影響しない。

氏　名： （外国人留学生は英字で記入）	
①　希望するイノベーション（３つの挑戦的なイノベーションの枠組みのうち、希望する１つ）	□　ライフイノベーション □　グリーンイノベーション □　システムイノベーション
②関心の高い研究室 （1 名以上） ※教員名をフルネームで記載	
③得意な専門科目 （3 科目必須）	
④本学を志望する理由 文中に出身大学名、出身大学の指導教員名、勤務先名は記入しないこと。 裏面の使用及び補足資料の添付不可。	
⑤本学博士前期課程修了後のキャリア目標 文中に出身大学名、出身大学の指導教員名、勤務先名は記入しないこと。 裏面の使用及び補足資料の添付不可。	

特定類型該当性の自己申告書/ Self-Declaration Form of Applicability to a Specific Category

外国為替及び外国貿易法（以下「外為法」という。）に基づき、規制対象となる貨物の輸出や技術の提供について経済産業大臣の許可を受ける義務が課せられていることから、本学では「国立大学法人北陸先端科学技術大学院大学安全保障輸出管理規則」を定め、安全保障輸出管理に取り組んでおります。

安全保障輸出管理では、非居住者（日本入国後６月未満の学生等）への技術等の提供に加え、居住者（日本入国後６月以上経過した学生等）であっても非居住者の非常に強い影響下にある場合、そのような居住者（特定類型該当者）に対する技術等の提供についても「みなし輸出」として管理の対象となります。

このことから、本学への出願を希望する方には外為法に基づく「みなし輸出」における管理対象であるかどうかの自己申告をお願いしております。ご自身の状況について、別紙のフローチャートを参照いただき、太枠内を記入の上、出願書類と併せてご提出ください。

Since any export of goods or transfer of technologies subject to the controls requires a license from the Minister of METI (the Ministry of Economy, Trade and Industry) based on the Foreign Exchange and Foreign Trade Act (hereafter referred to as “FEFTA”), JAIST has established regulations for Security Export Control and we are working on it.

Transferring technologies, etc. to a none-resident (a student who has been staying in Japan for 6 months or less, etc.) and to a resident (a student who has been staying in Japan for 6 months or more, etc.) who is under the significant influence of a non-resident, (a person who falls under the specific category), are subject to control as “deemed export control”.

We ask all applicants for admission to self-declare whether or not they are subject to the "deemed export control" based on the FEFTA. Please refer to the attached flowchart, fill in the form and submit it along with your application documents.

（注１ / Note 1）外国人留学生は氏名を英字で記入すること。 / International students must write their names in English.

記入年月日 / Date	年 / Year　　月 / Month　　日 / Day
氏名 / Name （注１ / See Note 1）	
課程 / Program (Place a check mark in the appropriate box.)	☐博士前期課程 / Master’s Program ☐博士後期課程 / Doctoral Program
特定類型該当性の自己申告 / Self-Declaration of Applicability to a Specific Category (Place a check mark in the appropriate box.)	☐ 類型①に該当 / I fall under the category 1 ☐ 類型②に該当 / I fall under the category 2 ☐ 類型①②の両方に該当 / I fall under the category 1 and 2 ☐ いずれにも該当しない / I do not fall under any of the categories

（別紙/ Appendix）

特定類型該当性の判断に係るフローチャート/ The flowchart to Check regarding Category

※「外国」とは「日本以外の国」を指します。
留学生等日本以外の国から来られる方の場合、自国も含みます。
/The term "foreign country" refers to countries other than Japan. In the case of individuals such as international students coming from countries other than Japan, it includes their own country as well.

類型①について/ About Category 1

外国法人等（外国大学を含む。）か外国政府等と雇用契約（契約の名称を問わず、時間的・場所的に拘束されるもの）又は取締役としての委任契約を締結しているか？ /Have you entered into an employment contract (i.e., temporal or physical obligation regardless of its name), a delegation contract as a board member with a foreign corporation (including a foreign university) or a foreign government?

NO → **類型①に該当しない。/You do NOT fall under Category 1.**

YES ↓

本自己申告書又は誓約書の提出先との契約に基づく指揮命令又は善管注意義務が、あなたの外国法人等又は外国政府等との契約に基づく指揮命令又は善管注意義務に優先するとの合意があるか？ /Is there any agreement that confirms the direction or the duty of care according to the contract with your organization in Japan (i.e., the destination of your letter of confirmation) supersedes the direction or the duty of care according to the contract with your foreign corporation or foreign government?

YES → **類型①に該当しない。/You do NOT fall under Category 1.**

NO ↓

本自己申告書又は本誓約書の提出先と、あなたが契約を結んでいる外国法人等はグループ企業の関係にあるか？（通常、大学等では該当しません。） /Is the foreign corporation with which you have contracted a group company of your organization in Japan (i.e., the destination of your letter of confirmation)?

YES → 類型②へ

NO → **類型①に該当する。/You MIGHT fall under Category 1.**

類型②について/ About Category 2

外国政府等から、個人として（×大学として、研究室として）多額の金銭その他の重大な利益を得ている、または、得ることを約束しているか？ /Do you earn or agree to earn, as an individual not in the name of your university or laboratory, a large amount of money or other significant profit from a foreign government?

NO → **類型②に該当しない。/You do NOT fall under Category 2.**

NO → 類型②へ

YES ↓

その利益を金銭換算した場合、年間所得のうち２５％以上を占めているか？ /Does the profit account for 25% or more of your annual income when converted into money?

YES or 不明 /Unclear → **類型②に該当する。/You MIGHT fall under Category 2.**

（海外在住者対象推薦入学特別選抜用・融合科学共同専攻）

※欄は記入しないこと。

※受験番号

志望理由書

記入にあたっての注意：

大学・高等専門学校に在学中に興味をもった研究や取り組んできた研究、得意科目、本学入学後の抱負及び大学院修了後に活躍したい分野などについて枠内に収まるように記述すること（自由記述）。

氏　名：

（外国人留学生は英字で記入）

（協定校対象推薦入学特別選抜用・融合科学共同専攻）

※欄は記入しないこと。

※受験番号

年　　月　　日

推　　薦　　書

北陸先端科学技術大学院大学長　宛

所　在　地　〒　　－

電　　話　（　　）　　－

学　校　名　　大学・短期大学・高等専門学校・大学校

所属長職・氏名　　公印

下記の者について、推薦理由のとおり、人物及び学力に関し共に優秀と認められることから、責任をもって推薦いたします。

記

志願先	先端科学技術研究科融合科学共同専攻
志願者氏名	
推薦理由	

（融合科学共同専攻 / Division of Transdisciplinary Sciences）

※欄は記入しないこと。
Official use only

※受験番号 Examinee's Number

学校教育等履歴書
Curriculum Vitae

入学希望年月 Semester for which you are applying	令和７年４月 April 2025				
志望課程 Intended program	博士前期課程 Master's Program	生年月日 Date of Birth	Year	Month	Day
氏名 Full name in English	Family	Given	Other(s)		

［学　歴 Educational Background］

		学校名及び所在地 Name and location of school	正規の修学年数 Officially required number of years of schooling	入学及び卒業年月 Year and month of enrollment and graduation or completion	修学年数 Duration of attendance	学位・資格 Qualification (degree, diploma or certificate)
初等教育 Primary Education 小学校 Primary School		学校名 Name 所在地 Location	年 years	入学 From ／ Year Month 卒業 To ／ Year Month	年 years and 月 months	
中等教育 Secondary Education	中学 Lower	学校名 Name 所在地 Location	年 years	入学 From ／ Year Month 卒業 To ／ Year Month	年 years and 月 months	
中学及び高校 Secondary School	高校 Upper	学校名 Name 所在地 Location	年 years	入学 From ／ Year Month 卒業 To ／ Year Month	年 years and 月 months	
高等教育 Higher Education 大学 Undergraduate Level		学校名 Name 所在地 Location	年 years	入学 From ／ Year Month 卒業 To ／ Year Month	年 years and 月 months	
大学院 Graduate Level		学校名 Name 所在地 Location	年 years	入学 From ／ Year Month 卒業 To ／ Year Month	年 years and 月 months	
以上を通算した全学校教育修学年数 Total years of the schooling mentioned above			年 years		年 years and 月 months	

注）　上欄に書ききれない場合には、適宜別紙に記入して添付すること。　If the given space is not enough, attach additional sheets.

［職　歴 Professional Background］

勤務先及び所在地 Name and location of organization	勤務期間 Period of employment
	From To
	From To
	From To
	From To

注）　虚偽の事項を記載し、又は当然記載すべき事項を記入しなかったことが判明した場合は、入学許可を取り消すことがある。
If it is discovered that an applicant has made false statements or has neglected matters to be stated on this curriculum vitae, the admission may be revoked even after enrollment.

［日本在住連絡人］　外国在住の方のみ記入してください。　For applicants living overseas, please fill out a contact person in Japan (if any).

氏名 Full Name	出願者との関係 Relationship to the applicant
住所 Address	
電話番号 Phone:	電子メール Email:

受　　験　　票

Examination Admission Card

北陸先端科学技術大学院大学先端科学技術研究科
Japan Advanced Institute of Science and Technology
Graduate School of Advanced Science and Technology

受 験 番 号 Examinee's Number	
フ リ ガ ナ	
氏　　名 Full Name	

写　　真 Photograph たて　　よこ Long　　wide 4 cm × 3 cm 願書と同一のもの Attach the same photo as in your application

試 験 日 Examination Date	試 験 室 Examination Room	受付時間 Registration Time	試験時間 Examination Time
月　　日 month　day	第　　試験室 No.　　Room	: ～ :	: ～ :

本票は受験の際、必ず携帯すること。
Applicants must bring this card on the day of the examination.
本票は入学手続時にも必要なので、 試験後も保管しておくこと。
After the examination, please keep this card for the future entrance procedures.
所定の枠に写真を貼付すること。また、太枠内のみ記入すること。
Please fill only in the thick frame and attach photos.

〒　　—
住所 / Address

氏名 / Name
様

〒　　—
住所 / Address

氏名 / Name
様

〒　　—
住所 / Address

氏名 / Name
様

〒　　—
住所 / Address

氏名 / Name
様

〒　　—
住所 / Address

氏名 / Name
様

〒　　—
住所 / Address

氏名 / Name
様

〒　　—
住所 / Address

氏名 / Name
様

〒　　—
住所 / Address

氏名 / Name
様

〒　　—
住所 / Address

氏名 / Name
様

〒　　—
住所 / Address

氏名 / Name
様